

平成26年度

# 決算報告書

第1期事業年度

自 平成26年 4月 1日

至 平成27年 3月31日

公立大学法人長岡造形大学

# 平成26年度 決算報告書

公立大学法人 長岡造形大学

(単位：千円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	686,370	705,880	19,510	(注1)
自己収入	596,677	692,146	95,469	
授業料及び入学金検定料収入	553,713	645,932	92,219	(注2)
雑収入	42,964	46,214	3,250	(注3)
受託研究等収入	3,000	5,734	2,734	(注4)
寄附金収入	220,766	5,634,834	5,414,068	(注5)
計	1,506,813	7,038,595	5,531,782	
支出				
業務費	1,240,308	1,178,918	△ 61,389	
教育研究経費	361,668	301,392	△ 60,275	(注6)
人件費	878,640	877,525	△ 1,114	
一般管理費	263,505	210,870	△ 52,634	(注7)
受託研究費等	3,000	4,868	1,868	(注8)
計	1,506,813	1,394,656	△ 112,156	

● 表示単位について

表中の金額は、千円未満を切り捨てて表示しています。

● 予算額と決算額の差異について

(注1) 算出基礎となる単位費用及び学生数の確定により、19,510千円増加しました。

(注2) 受験者及び入学者の増加及び次年度授業料の計上により、92,219千円増加しました。

(注3) 次年度に開講する市民工房受講料の計上により、3,250千円増加しました。

(注4) 地域協創センターの受託研究8件等の実施により、2,734千円増加しました。

(注5) 学校法人長岡造形大学からの承継資金について、予算では財源として充当する額のみを計上しましたが、決算で全額を計上したため、5,414,068千円増加しました。

(注6) 予備費15,267千円が未使用となりました。それ以外は業務計画の変更、効率的な業務運営及び経費節減に努めたことにより、60,275千円減少しました。

(注7) 予備費13,997千円が未使用となりました。それ以外は業務計画の変更、効率的な業務運営及び経費節減に努めたことにより、52,634千円減少しました。

(注8) 地域協創センターの受託研究8件等の実施により、1,868千円増加しました。

● 損益計算書との差異について

(1) 損益計算書では減価償却費が費用に計上されますが、決算報告書では計上されません。

(2) 損益計算書では授業料免除額が授業料収益に計上され、同額が奨学金に計上されますが、決算報告書では収入支出ともに計上されません。

(3) 決算報告書では寄附金の受領が収入に全額計上されますが、損益計算書では費用の発生に応じた額が収益に計上されます。